

第6回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー

《講師》

志田 忠正(京都大学名誉教授)

《演題》

単位がわかると科学がわかる

《日時》 3月21日(水)午後4時10分から

《場所》 京都府立大学合同講義室棟3階第5講義室

《講演内容》

“3・11”以来、早くも一年が経ち、放射線に関係する量について見聞きすることが多くなりました。講師の志田先生は、放射線を用いた基礎化学の研究から始まり、半世紀に亘って分子科学のいろいろな分野に従事してこられました。今回、「昔とった杵柄」ということでジャーナリズムの解説では今ひとつピンとこないという声もある冒頭の話の皮切りに、自然科学の研究で単位・次元に関するお話をして頂きます。

なおご講演に先立ち、生命物理化学研究室の大学院生による研究発表(下記)も行いますので、あわせてご来聴ください。

大学院生講演: 原 小太郎(京都府立大学・生命環境科学研究科)

演題: X線一分子追跡法によるタンパク質構造変化の可視化

《連絡先》 織田 昌幸(生命物理化学研究室)

E-mail: oda@kpu.ac.jp, Phone: 075-703-5673